

2023 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
ミドル・ディスタンス、リレー競技部門

要項 2

発行日：2023 年 11 月 15 日（水）

発行者：2023 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
ミドル・ディスタンス、リレー競技部門実行委員会

発行責任者：伊部 琴美（実行委員長）

編集責任者：津田 卓磨（広報責任者）



はじめに

本大会では、インカレ実施規則第 2.1 項に定められた「個人ミドル・ディスタンス競技部門」及び「3 名のリレー競技部門」（以下、**選手権の部**）を実施します。また、選手権の部に出場しない日本学連加盟員のための競技部門（以下、**一般の部**）を併設開催します。

略称・呼称

本要項では、以下の略称・呼称を使用することがあります。

略称・呼称	正式名称
インカレ実施規則	日本学生オリエンテーリング選手権実施規則 (2021 年 9 月 19 日全文改正)
日本学連	日本学生オリエンテーリング連盟
競技者	「日本学生オリエンテーリング連盟規約」 (令和 3 年 12 月 5 日改正) 第 5 章によって定められた 競技者登録がなされている者
選手権の部	インカレ実施規則第 2 条第 1 項に定められた ミドル・ディスタンス競技部門、リレー競技部門
一般の部	選手権の部に出場しない日本学連競技者のための競技部門

開催日

2024 年 **3 月 15 日**（金）、**16 日**（土）、**17 日**（日）

- 3 月 15 日（金）：モデルイベント、開会式
- 3 月 16 日（土）：ミドル・ディスタンス競技部門
- 3 月 17 日（日）：リレー競技部門、閉会式

※ 尚、内容の一部変更、延期、中止の判断を行う可能性があります。

開催地

愛知県豊田市

主催

日本学生オリエンテーリング連盟

主管

2023年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
ミドル・ディスタンス、リレー競技部門実行委員会

実行委員長	伊部 琴美 (名古屋 17)
競技責任者	片岡 佑太 (大阪 17)
運営責任者	戸澤 貴志 (横浜国立 16)
コース設定者	古池 将樹 (京都 17) 前野 達也 (名古屋 15)
イベント・アドバイザー	菅谷 裕志 (名古屋 08)

主管者連絡先 (お問合せはこちらをお願いします)

実行委員会問合せ用アドレス (ミドル・ディスタンス、リレー競技部門共通)

e-mail: icmr2023.inquiry@gmail.com (○は@に変えてください)

※ 要項 1 から変更されています。

後援

豊田市、豊田市教育委員会、愛知県オリエンテーリング協会、公益社団法人日本オリエンテーリング協会他 (申請中)

大会公式 web サイト

URL: <https://icmr2023-hp.web.app/>

1 競技情報

競技形式／地図仕様

競技形式／競技区分	地図仕様			
	縮尺	等高線間隔	走行可能度	地図表記
ミドル・ディスタンス競技 リレー競技	1:10,000	5 m	4段階表示	ISOM2017-2 準拠

パンチングシステム

全てのクラスにおいて、Emit 社の電子パンチング計時システム（E カード）を使用します。

トレイン概要

ICMR2023 の舞台となる三河高原牧場は、WOC2005 ミドル決勝が開催されたトレインである。18 年前の夏、帝王 Thierry Gueorgiou と WOC2005 で 4 冠を成し遂げた Simone Niggli-Luder がともに圧倒的な差で優勝した。

2010 年以來の大会開催となる本トレインは、笹や倒木で走りづらいエリアもあるものの、概して植生が良く見通しの良い斜面が多い。細かな尾根沢が見られるエリアもあるが、多くの部分を大きく傾斜のある斜面が占める。

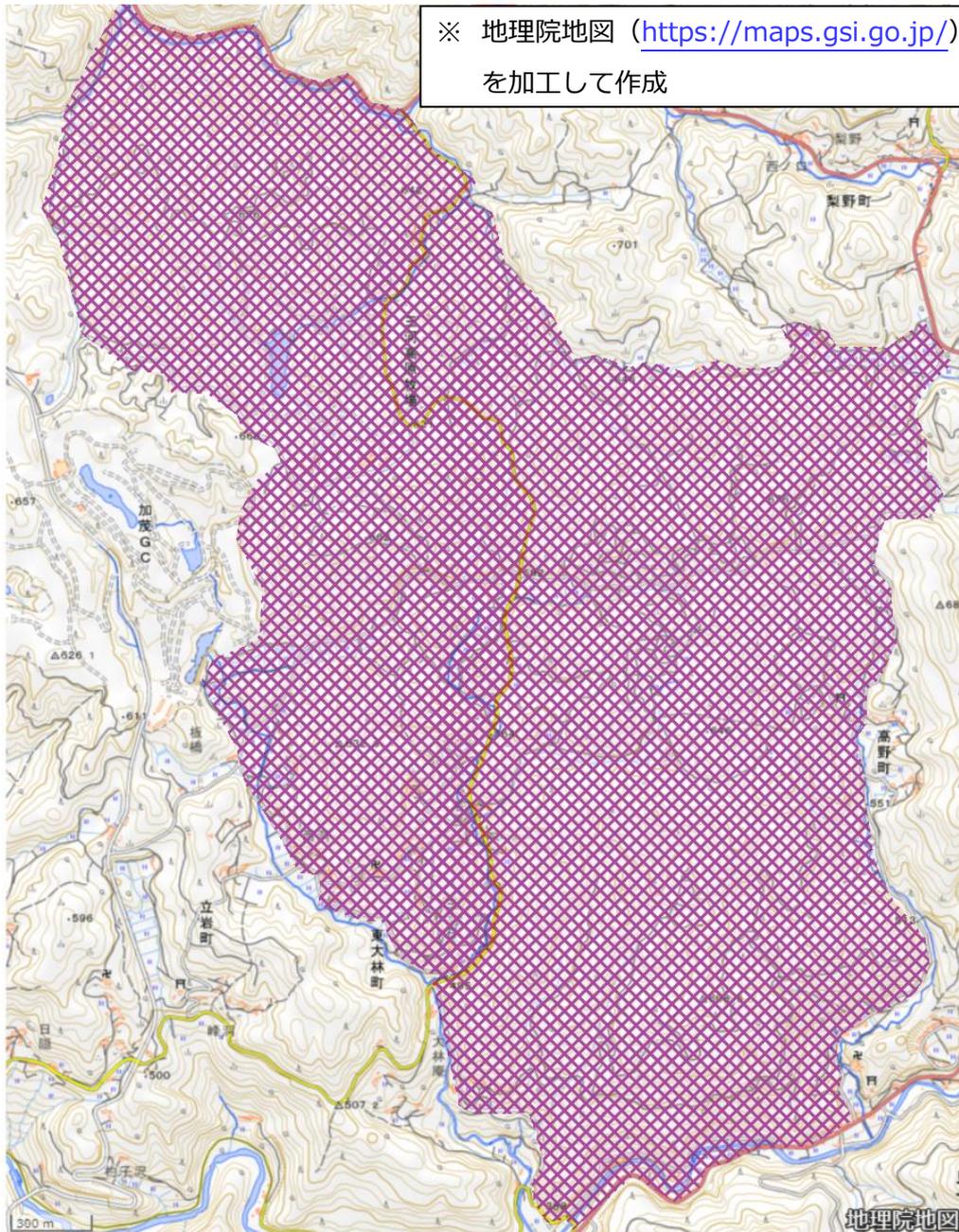
スピードを維持したナビゲーションとエリアごとの切り替えが求められる、学生最後の舞台にふさわしいトレインと言える。世界選手権に負けない熱戦を期待したい。

<競技責任者 片岡佑太>

立入禁止区域・クローズトレイン

本大会への参加を予定している者（チームオフィシャル^{※1}、併設大会参加者^{※2}含む）および観戦を予定している者は、本大会終了までの期間、以下に示す区域へのオリエンテーリング目的（トレイン視察含む）での立入を禁止します（競技参加時を除く）。なお、立入禁止区域周辺道路の利用は妨げません。

- ※1 本大会参加校は、チームオフィシャルとして選手のサポートを行う者を登録することができます。チームオフィシャルについての詳細は、p.8をご覧ください。
- ※2 本大会には日本学生オリエンテーリング連盟の加盟員のみ出場可能ですが、一般の方を対象とした併設大会を開催する予定です。詳細は12月頃発行予定の併設大会要項をご覧ください。



また、立入禁止区域の設定に伴い、下記トレインをクローズします。クローズトレインの旧地図は[大会 HP](#)に掲載します。

クローズトレイン

「三河高原牧場」 2005年 世界選手権地図作成チーム作成

トレーニングトレイン

本大会ではトレーニングトレインを設けません。隣接する作手下山地区の使用については愛知県協会にお問い合わせください。

モデルイベント

モデルイベントを以下の通り開催します。

開催日	2024年3月15日(金)
開催地	愛知県新城市・岡崎市
会場	愛知県野外教育センター (https://maps.app.goo.gl/cwUy6X8SngnfoirX8)
地図仕様	実際に競技に使用する地図と同一(縮尺・作成基準含む)
参加費	本大会の参加費に含まれます。
地図配布方法	別途大会公式WEBサイトにて告知します。

※ モデルイベントの会場と開会式の会場は同一です。

ドーピング検査

- 本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会です。本大会参加者およびチームオフィシャルは、日本アンチ・ドーピング規程に従わなければなりません。
- ドーピング検査の対象となった本大会参加者は競技役員の指示に従って検査を受けなければなりません。なお、身分証明のため、本大会参加者は学生証・運転免許証等、写真により本人確認ができるものを持参してください。
- 本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手を完了することができなかつた場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることとなります。
- 血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となります。
- 禁止物質や禁止方法であっても、事前に所定の手続きによって治療使用特例(TUE)が認められれば、例外的に使用することができます。原則としてTUEが必要な大会の30日前までに申請を行ってください。
- 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容及びドーピング検査並びにTUEについては、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)の[Webサイト](#)にて確認してください。
- ミドル選手権クラス出場者はアンチ・ドーピングのeラーニングの受講が必須となります。詳細は日本学連からの案内に従ってください。



2

クラスと参加資格

ミドル・ディスタンス競技部門

選手権の部

◆ クラス情報

クラス	優勝設定時間
男子選手権 (ME)	35-40 分
女子選手権 (WE)	35-40 分

- 各選手権の優勝者をミドル・ディスタンス競技選手権者とします。
- 優勝設定時間はインカレ実施規則第 15 条第 1 項に定められた時間です。

◆ 参加資格

以下の 2 点を共に満たす者が「選手権の部」に参加することができます。

- 日本学連に競技者登録されていること。
- 地区学連枠、もしくは前年度個人実績枠による出場資格を持っていること。

<地区学連枠>

本年度の各地区学連の競技者数配分人数については、日本学連技術委員会によって決定されています。なお、競技者の選出方法は、各地区学連で定められています。

クラス	北東	関東	北信越	東海	関西	中九四	合計
男子選手権 (ME)	9	33	5	4	9	2	62
女子選手権 (WE)	4	15	3	3	4	1	30

<前年度個人実績枠>

前年度入賞者は、地区学連枠とは別に選手権の部の出場資格を得ます。

クラス	選手権の部の出場資格者
男子選手権 (ME)	美濃部 駿 (横浜市立 3) 橋本 遼佑 (神戸市立工業高等専門学校 4)
女子選手権 (WE)	樋口 佳那 (筑波 3)、桑原 唯歩 (横浜国立 3)

一般の部

◆ クラス情報

クラス	対象	参加資格	優勝設定時間
MUA	男子上級者	日本学連登録 2 年目以上の男子	25-35 分
MUB	男子中級者	日本学連登録 2 年目以上の男子	
MUF	男子新人	日本学連登録初年度の男子	20-30 分
WUA	女子上級者	日本学連登録 2 年目以上の女子	25-35 分
WUB	女子中級者	日本学連登録 2 年目以上の女子	
WUF	女子新人	日本学連登録初年度の女子	20-30 分

- 申し込み多数のクラスについては、複数のクラスに分割します。
- クラスの選定については、日本学連発行の「[インカレ一般クラス棲み分けに関するガイドライン](#)」をご参照ください。

リレー競技部門

選手権の部

◆ クラス情報

クラス	優勝設定時間 (3人合計)
男子選手権 (MER)	120-150分
女子選手権 (WER)	110-135分

- 各選手権の優勝校をリレー競技選手権校とします。
- 優勝設定時間はインカレ実施規則第15条第1項に定められた時間です。

◆ 参加資格

- 各校は男女それぞれ1チームのみ出場させることができます。
- 日本学連に競技者登録されている3名から構成されるチームであることが必要です。

<特例措置について>

選手権の部にチームを構成できない参加校は、複数校にまたがって特例チームを構成し、参加することが可能です。特例措置を希望する参加校は、「特例措置の申請」に従って申請してください。

- 詳細は日本学連発行の[「インカレリレー特例措置に関するガイドライン」](#)を参照してください。
- 特例措置にて構成されたチームは参考記録とし、表彰対象外とします。

一般の部

◆ クラス情報

クラス	対象	チーム編成	参加資格	優勝設定時間 (1人あたり)
MAR	男子上級者	男子3名	大会開催時の期間において日本学連競技者であること	25-35分
WAR	女子上級者	女子3名		
XAR	上級者	男女各1名以上を含む3名		
MAS	男子上級者個人	男子1名		
WAS	女子上級者個人	女子1名		
BR	中級者	3名	25-35分	
BS	中級者個人	1名		

- BR/BSの難易度は、ミドル一般の部のFクラス～Bクラス相当です。
- MAS/WAS/BSは一斉スタート方式の個人競技です。
- BRについては、「男性のみで3名」「女性のみで3名」「男女混合で3名」のいずれも可とします。
- 構成員の所属が複数校にまたがるチーム編成も認めますが、各校につき2チームまでに限ります。複数校にまたがるチームも正規チームとして認め、公式記録として扱います。

チームオフィシャル

参加校はチームオフィシャルを登録することができます。ミドルかリレー、どちらか一方の競技のみの出場でも登録可能です。チームオフィシャルは、ミドル競技及びリレー競技の選手権の部スタート地区において、選手のサポート、および各競技前日開催の代表者ミーティングへの参加が可能です。

各校に認められるチームオフィシャルの人数は、以下の通りです。

- 男子選手権の部への選手登録に対して最大 2 名まで
 - 女子選手権の部への選手登録に対して最大 2 名まで
(各校最大で合計 4 名まで登録可能)
- ※ リレー競技の選手権の部に、複数校による特例チームで出場する場合は、特例チームを構成する大学の数だけチームオフィシャルを登録することが可能です。

**3**

参加申し込み

エントリー期間

2023年12月1日（金）～2023年12月31日（日）

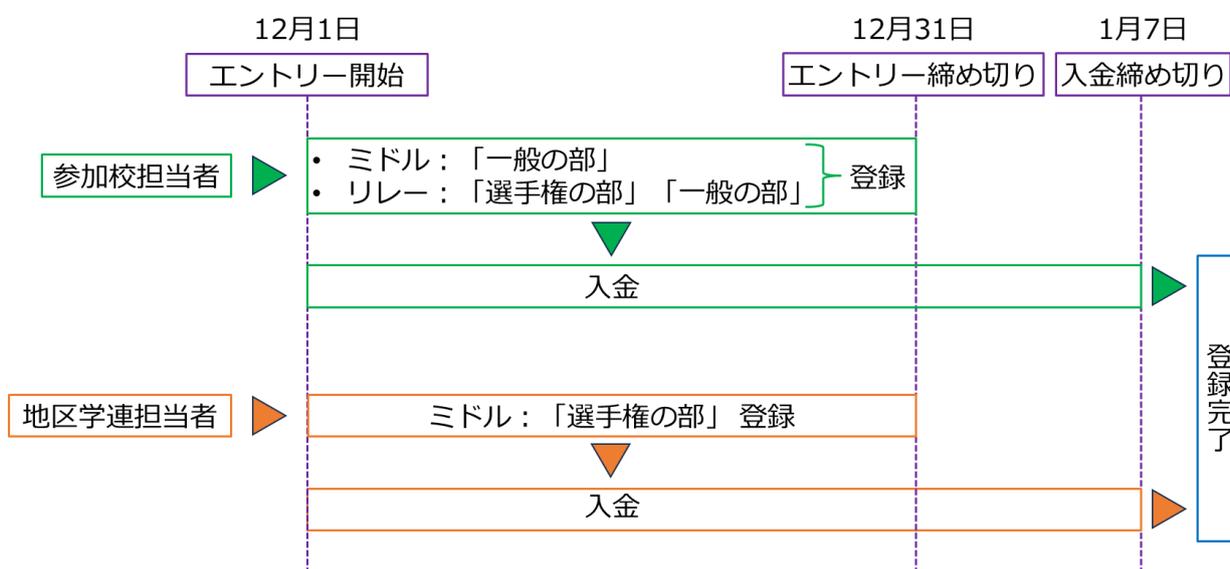
入金期間

2023年12月1日（金）～2024年1月7日（日）

エントリー方法

本大会の参加申し込みは、原則としてインターネット上のエントリーサイトで行います。エントリーサイトは[大会 HP](#) よりアクセスすることができます。

エントリーの流れを下図に示します。



◆ アカウント入手 各校 学連

エントリーサイトにログインするためにはアカウント（ID とパスワード）が必要です。エントリーサイトに使用するアカウントは、原則、日本学連に加盟登録をした際のものを使用してください。

【上記のアカウントでログインできない場合】

参加校および地区学連の担当者は、エントリー担当連絡先へ「【学校名（学連名）】アカウント希望」という題名でメールを送信してください。1週間以内にアカウントを発行します。

◆ エントリーサイトへの登録 各校

参加校担当者は、ミドル・ディスタンス競技に出場する各選手の参加クラスとリレー競技のクラス別参加チーム数、チームオフィシャルを登録してください。なお、ミドル・ディスタンス競技エントリー時は、「選手権の部」出場有無に関わらず「一般の部」に出場する場合の希望クラスを入力してください。

詳しくは[大会 HP](#) に掲載している別資料「申し込みの手引き」をご覧ください。

◆ リレーオーダーサイトへの登録 各校

リレーオーダーサイトは大会1週間前に公開する予定です。参加校担当者は、リレーオーダーサイト公開後に各選手の参加クラス・走順を登録してください。

◆ ミドル・ディスタンス選手権登録 学連

各地区学連の担当者は選考した代表選手を「選手権の部」に登録する必要があります。そのためには競技者のエントリーサイトへの登録が必須となりますので、参加校担当者は速やかにエントリーサイトへの登録を行ってください。

◆ 参加費入金 各校 学連

下記の参加費を参照し、地区学連担当者はミドル・ディスタンス競技「選手権の部」登録費を、参加校担当者はそれ以外の合計金額を参加費入金先まで入金してください。

・地区学連担当者：③の合計金額 ・参加校担当者：①、②、④、⑤の合計金額

参加費

項目		単位	金額
必須	① 基本参加費	選手	1人 8,500円
		チームオフィシャル	1人 8,000円
	② 宿泊費・輸送費	2泊・1人	32,700円
追加	③ ミドル・ディスタンス競技「選手権の部」登録費	1人	+1,500円
	④ リレー競技「選手権の部」登録費	1チーム	+4,500円
任意	⑤ Eカードレンタル	1人	+500円

- エントリー時には、参加日数に関わらず2泊分の宿泊費・輸送費と全日程の基本参加費を徴収します。
- 本大会では原則宿泊及び輸送を必須としています。詳細は「4. 宿泊・輸送」の項をご覧ください。
- やむを得ない事情により1泊しかできない選手がいる場合や、宿泊費・輸送費の過剰徴収となった場合は、後日返金を行う予定です。
- 本大会の報告書は大会公式Webサイトでの公開のみとし、販売は行いません。
- レンタルEカードを紛失、破損した場合は1枚につき9,000円の追加料金をいただきます。

参加費振込先

銀行名：三井住友銀行 銀行コード：0009 支店名：高尾 支店番号：906
口座番号：0798598 受取人：エノ コウタロウ

特例措置の申請

「リレー競技選手権の部の特例措置」を希望する学校は、下記に従って申請してください。

◆ 申請方法

- メール件名に「【エントリー】【学校名】選手権リレー特例措置の申請」と記載の上、エントリー担当連絡先へ申請してください。
- 申請期限は **2023年12月31日(日)** とします。

エントリー内容変更

エントリー締切後のエントリー内容変更については下記の通りとします。詳細は別資料「エントリー締切後の登録内容の変更について」をご確認ください。

- **エントリー追加及び代走は認めません。**
- 欠席することが事前に分かった場合、その旨を速やかにエントリー担当までお知らせください。参加費からキャンセル負担金を差し引いた額の返金額と返金方法について、担当から連絡します。詳細は別資料「大会の欠場に伴う返金について」をご確認ください。
- その他のエントリー内容の変更については、エントリー担当に個別にお問い合わせください。

エントリー問合せ先

主管者連絡先と共通です。

実行委員会問合せ用アドレス（ミドル・ディスタンス、リレー競技部門共通）
e-mail: icmr2023.inquiry@gmail.com （○は@に変えてください）



4 宿泊・輸送

宿泊について

- 選手（「選手権の部」または「一般の部」への参加者）およびチームオフィシャルは、主管者が指定する宿舎に原則宿泊するものとします。ただし、日本学連での事前の協議において、宿泊の自由化が認められた大学については例外とします。
- 参加者の宿泊地（愛知県西尾市、蒲郡市、豊田市、岡崎市、安城市、知立市、刈谷市を予定）となる宿舎から競技エリアまでの輸送は、専用バスで行います。
- 宿泊輸送費には、大会期間の宿泊費（2泊3日、下表に記載の食事付）、昼食代（2日間）、バスによる輸送費、傷害保険料等を含みます。ただし、モデルイベントの輸送費は含みません。
- 費用と宿泊体系により、旅館タイプとホテルタイプの2つから選択できます。各宿舎の特徴は以下の通りです。

宿舎タイプ	旅館	ホテル
利用施設数	6～10	3～7
収容可能人数	約 1000 名	約 150 名
宿泊輸送費	32700 円	29900 円
ミーティングスペース	施設によるが、提供できる施設が多い	ほぼ提供できない
食事	夕食・朝食付き	朝食のみ
客室	主に和室・和洋室、一部洋室あり	洋室
一部屋あたりの人数	4～6 名	2 名（ツイン）、一部は 1 名（シングル）。ただし、学校等から宿泊制限が課せられている場合はシングルで対応。
風呂	大浴場	原則客室（施設によっては大浴場有）
最寄り駅からの距離	離れているところが多い	近いところが多い
エリア	西浦温泉、形原温泉、豊田市、三ヶ根山、吉良	豊田市、岡崎市、安城市、知立市、刈谷市

- ※ 食事内容は施設により異なります。
- ※ ホテルタイプの宿には、宿泊施設内での夕食対応ができません。また、主管者側でも夕食を用意しません。ただし、ホテル周辺には食事を摂れる施設が複数あります。
- ※ 宿泊タイプについては、エントリーの際に希望調査を行います。旅館タイプ希望の学校には旅館タイプの宿を保証します。ホテルタイプの希望が集中した場合、可能な限り希望を満たすよう増室対応しますが、主管者による抽選の上、旅館に移行していただくことがあります。ただし、学校等により宿泊施設に制限が課されている場合にはホテルタイプの選択を保証します。配宿の結果は大会の 2 週間前を目安に大会 HP に公開されます。

- ※ 原則として申し込み締切後の希望変更はできません。今後の感染症拡大の可能性も考慮して希望を提出してください。各タイプの宿はある程度余裕を持って確保しますが、数に限りがあること、キャンセルの都合から大会 1 ヶ月前以降は一切の変更ができないことをあらかじめご了承ください。
- ※ 参加者が宿へ直接コンタクトをとることを一切禁止します。必ず主管者経由でお問い合わせくださるようお願いいたします（トラブル等防止のため）。

宿泊キャンセル時の返金について

別資料「大会の欠場に伴う返金について」をご参照ください。

輸送について

参加者は 2024 年 3 月 16 日（土）、17 日（日）の大会期間中の下記期間において、主管が指定する方法での移動が原則必須となります。

- 宿泊施設と競技会場の間を移動するとき
- その他、主管が定めるとき

なお、上記日程の料金については前述のように宿泊輸送費に含まれています。

2024 年 3 月 15 日（金）のモデルイベント、開会式の移動については下記の通りとなります。詳細については要項 3 でご案内いたします。

- モデルイベント会場までの移動および開会式後の選手村への移動は自家車、及び大会公式バスでの移動となります。なお、モデルイベントと開会式の会場は同一です。
- 上記の区間のバス輸送については、別料金となりますのであらかじめご了承ください。申し込み方法や料金については要項 3 でご案内いたします。



5. 観戦・併設大会

観戦

本大会の観戦は自由とします。後日発行する要項 3 に従って観戦してください。

併設大会

日本学連競技者以外の一般の方を対象とした併設大会を、本大会と同時に開催する予定です。詳細については[併設大会 Web サイト](#)にてご確認ください。

申し込みについては、12 月頃発行予定の併設大会要項をご参照ください。

— 要項 2 おわり —

2023 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
ミドル・ディスタンス競技部門、リレー競技部門

プログラム広告募集

要項3（プログラム）に掲載する広告を募集します。募集内容については以下をご確認ください。
母校の学生に向けた応援メッセージ、地域クラブの広告、大会告知など、多数のお申し込みをお待ちしております。

要項3（プログラム）掲載広告

	1コマ (1/8ページ)	2コマ (1/4ページ)	4コマ (1/2ページ)	8コマ (1ページ)	16コマ (2ページ)
縦×横 (mm)	67×85	67×170 or 134×85	134×170	267×170	267×170×2 ページ
営利団体	14,000円	22,000円	38,000円	66,000円	110,000円
非営利団体	7,000円	11,000円	19,000円	33,000円	55,000円

<注意事項>

- 1ページのサイズは **A4** です。
- 原稿は次のいずれかの形式で受け付けます：**JPEG, BMP, PNG**
- 原稿は必ずサイズをご確認の上で作成ください。申し込みサイズと原稿のサイズが異なる場合は、実行委員会でサイズを調整させていただきます。
- 容量が大きいものは圧縮して掲載する場合があります。
- 広告の掲載順は実行委員会で決定し、指定はできません。
- 要項3（プログラム）広告掲載費用は、大会開催の如何に依らず、要項3（プログラム）が発行された場合に請求いたします。要項3（プログラム）発行前に大会の中止が決定した場合、広告掲載費用は徴収いたしません。

申込方法

[Google Form](#) に必要事項を入力の上、お申込みください。

申込締切

2024年1月31日（水）23:59 厳守

広告原稿提出締切

要項3（プログラム）広告 2024年2月10日（土）23:59 厳守

- 原稿の提出先は申込完了後にお知らせします。
- 提出確認後、締切日の3日後までに確認のメールを送付します。

広告掲載費用の請求について

広告掲載費用および振込先については、要項 3 発行後もしくは大会開催後、申込時にご記入いただいた連絡先にご連絡いたします。

問い合わせ先

主管連絡先とは異なりますのでご注意ください。

要項 3 (プログラム) 広告 問合せ用アドレス

e-mail: icmr2023.ad@gmail.com (○は@に変えてください)

アスリートとサポートスタッフのみなさんへ。

なぜ、私たちにとって、アンチ・ドーピングの
知識や活動が必要なのでしょう？

アンチ・ドーピングは、たんに
「不正する人を見つけ、不当な勝利を防ぐ」ための活動ではありません。

アンチ・ドーピングは、スポーツを成り立たせている
「みんながフェアであること」を守るためにあります。
全員がフェアでなければ、そもそもスポーツは成り立たない。
すべての人が、スポーツに参加し、公平に競い合うことができる。
その権利を守るために、アンチ・ドーピング活動があります。

そして、もうひとつ。アンチ・ドーピングは、
「スポーツが生み出す価値」を守るためにあります。
挑戦する心、相手へのリスペクト、そこから生まれる友情、
そんな、社会にとっても大切な価値を守るためにあります。

フェアであることを守り、スポーツの価値を守る。
そのいちばん中心となるのが、アスリートとサポートスタッフのみなさんです。
みなさんが、フェアであることをつねに誇りに思い、
その大切さを、世の中に示すこと。
それこそが、スポーツの発展を支え、よりよい社会をつくる力になります。

フェアであることの誇りを胸に、素晴らしいスポーツの価値を、
ともに広めていきましょう。



勝利を超える価値がある

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構